

## 第 69 回 株式会社 USEN 放送番組審議会 議事録

### ■開催日時

2021 年 7 月 15 日(木)16:00～

### ■開催場所

東京都渋谷区神泉町 9-8 USEN 渋谷ビル

渋谷ビルミーティングルームをベースとして、委員および USEN 側の一部がテレビ会議形式で出席。

### ■出席者

湯川 れい子 委員長

富澤 一誠 委員

和合 治久 委員

長谷川 演 委員

### ■局側出席者

取締役副社長 大田 安彦

コンテンツプロデュース統括部長 山下 光儀

コンテンツプロデュース統括部編成部長 松本 茂雄

コンテンツプロデュース統括部制作部長 村田 徹

コンテンツプロデュース統括部制作部制作1課長 小島 万奈

コンテンツプロデュース統括部制作部制作1課 別所 亜紀

コンテンツプロデュース統括部制作部制作1課 北村 魁知

【番組審議会事務局:森角、林、大園】

### 議事内容

#### 1. 会社動向、放送事業動向についての報告

##### (1)第 57 期第 3 四半期経営成績について

売上高は、店舗サービスが前期比微増収で上振れて進捗し、エネルギーはコロナ影響での施設稼働減/燃調費低下傾向は変わらず減収した。営業利益/経常利益/当期純利益は、販管費未消化により各段階利益は上振れて推移した。

##### (2)衛生管理アプリ「お店の HACCP」アプリについて

食品衛生法の改正により、2021 年 6 月 1 日から、原則として全ての飲食店が HACCP に沿った衛生管理を行う事が制度・義務化された。当社では専用アプリを開発し、USEN 少額短期保険の飲食業補償契約の顧客に「お店の HACCP」アプリを無料で進呈する。衛生管理で食中毒を未然に防ぎ、万一食中毒が発生した場合は保険で補償する二重の対策を飲食店事業者に提供し、安心・安全な店舗運営をサポートする。

(3) 配膳ロボット「Servi」について

ソフトバンクロボティクス社と提携し配膳・運搬ロボット「Servi」の飲食店への導入に取り組んでいる。新型コロナウイルスの感染が広がる中、従業員との接触機会を減らし、少しでもお客様の不安を払拭したいという要望も増えている。

(4) Amazon サービスへの参画について

5月、Amazon.co.jpにて提供されている、こども向けサブスクリプションサービス【Amazon Kids+】へ、オリジナル音楽アプリケーション『USEN Kids』の提供を開始した。

(5)健康経営会議への参画について

6月、「健康経営会議」応援団企業に加入した。SDGsの取組みとして、2021年1月より当社が展開している「健康BGM」をはじめ、オフィス向けBGM「Sound Design for OFFICE」など、健康経営を支援するサービスを訴求する。

(6)追悼番組の放送について

4月26日～5月24日まで、4月20日に逝去された、レスリー・マッコーエン氏(享年65歳)を偲んで「ベイ・シテイ・ローラーズ レスリー・マッコーエン 追悼特別番組」を放送した。6月16日～7月19日まで、5月30日に逝去された、作曲家の小林亜星氏(享年88歳)を偲んで「小林亜星 追悼特別番組」を放送した。

2. 審議課題

「既存番組」+「時間帯」+「演出」

3. 【対象番組】

■B-69 CONTEMPORARY VOCAL (スロー～ミドル)

■H-12 スtringス・オーケストラ

4. 審議

【放送局】

第57期は「既存番組」+「時間帯」+「演出」を審議テーマとする。今回は夜帯での利用を想定し、「B-69 CONTEMPORARY VOCAL (スロー～ミドル)」、「H-12 スtringス・オーケストラ」の2番組を審議頂きたい。

【審議委員】

まず、「B-69 CONTEMPORARY VOCAL (スロー～ミドル)」について、本日欠席の委員より事前に頂いているご意見から伺う。

【放送局】

選曲全般への感想だが、ジャンルを超えての選曲でこのような統一感を漂わせるのは優れたセンスと多くの手間を掛けているように想像し、感服した。時代を超えて普遍的な選曲が出来るように、アーティスト達の層が厚くなり選曲側の選択肢の幅が広がっている事も感じる。また、全体に気持ちを温かくしてくれる楽曲が多く、耳にしていると自然に元気になっていくように感じ、とても好きな選曲だった。その一方、落ち着いた雰囲気を演出する、という意図とは少し異なるようにも思う。「落ち着いた」がダウンだとすると、サンプルの流れは少しアップであるように感じた。また、曲によって、例えばアコ

ースティックギター等の曲は爽やかで午前中の雰囲気を感じた。夜帯提案番組としての評価は良いと思うが、前述の通り「落ち着いた」という言葉から期待されるものとは少し違うように思うので、お客様の意見を少し聞いてみて判断してほしい。演出ワード/想定業種についてだが、美容室やカフェ・レストラン等との相性は良いと思う。暖かい雰囲気はずっと過ごしていたくなる空気を持っているので、商業施設、フードコートなど滞留時間を長くする努力をしている店舗にもお勧め出来る。「お客さんを帰さないチャンネル」のようなキャッチはどうだろうか。選曲は非常に好みで大きな市場性が有りそうだが、より多くのお店に選ばれる為には、選ばれる為の言葉を加えた方が伝わりやすいのではないかと思う。

#### 【審議委員】

大変参考になるご意見を頂けたのではないかと思う。

#### 【審議委員】

「B-69 CONTEMPORARY VOCAL (スロー～ミドル)」は「くつろぎのひとつきを演出する BGM」をコンセプトとしたスロー～ミドルテンポの心地良いヴォーカルナンバーを集めた番組という事で、テンポに関してはスロー～ミドルに統一されているか、心地良さに関しては純粹で透き通った印象が得られるか、くつろぎ感に関しては心が落ち着くか、を評価した。テンポは全体を通してスロー～ミドルであったので全体的には心にゆったり感、或いは滑らかな印象を与えたが、中にはリズムやテンポが快活過ぎる曲も有った。身体がリズムに合わせて自然と動いてしまうので、そういう観点では良いかも知れないが、くつろいで落ち着くというのとは違うのではないかと思った。一方、若い世代の人が美容室やカフェで「B-69 CONTEMPORARY VOCAL (スロー～ミドル)」を聴けば心地良く感じるのかも知れないとも思った。育った時代背景も関係するとは思うが、そのような事も加味しつつ、聴く人の世代を考えてもう少し選曲を絞っていくと更に良い選曲が出来たのではないか。夜帯提案番組としてだが、私は午前でも午後でも良いと感じたが、人それぞれかとも思い、一定の結論を出すに至らなかった。想定業種については聴く人の立場を考える必要も有ると思う。例えば、美容室では美容師は集中力を高めて失敗をしないという事と、お客様はくつろいで利用するという事で立場によって聴き方が違うと思う。その為には、もう少し落ち着いて聴ける雰囲気が必要だ。また、カフェ・レストランでは、座って会話が弾むような雰囲気が醸し出されるのが良いと思う。そのような事を含め、美容室でもカフェ・レストランでも、その雰囲気に合わせて選曲内容をもう少し考えたり絞ったりすると良い。その他、20代～40代の働き盛りの若い世代が足を運ぶようなアパレル等では合うと感じた。

#### 【審議委員】

今回も時間が有ったので、色々な場面で聴いたのだが、場所によって聴こえ方が全然違って驚いた。全体としては、何かしながら聴くには非常にまとまりが有って、心地良く聴けた。私は音楽ジャンルに詳しくないが、経営する店のスタッフに聴かせると様々なジャンルから選曲されているのにまとまり感が有ると言っていた。夜帯提案番組という事で、夜にしっかり落ち着いて聴いてみた。昼に移動しながら聴いている時にはテンポや曲調がまったりしている印象を抱いていたが、夜にしっかり聴いてみると意外にまったりしておらず、結構ノリの良い曲も有ったので不思議に感じた。中には、イントロが特徴的な曲も有った。イントロが終わると選曲全体に溶け込んでいくが、イントロも非常に重要で、人に刺激を与える場合も有り、イントロが無ければ違和感無く聴けるのだろうと感じる曲も有った。想定業種になっている美容室で実際に「B-69 CONTEMPORARY VOCAL (スロー～ミドル)」を流してもらったら、スタッフが働いている時には非常に良いが、お客様に施術している時、特にシャンプー中はノリの良い曲が流れると違和感を覚えると言われた。お客様と話している時は全然気にならないようだが、シャンプー等静かになるタイミングは真剣に聴くので気になるようだ。夜帯提案番組としてだが、

勿論半分以上は夜っぽい曲が流れるが、夜のまったり感と言うよりも午前中のビーチで聴くのに良いBGMになると感じた。全体的な感想としては、業種は美容室やカジュアルなレストラン、アパレル、雑貨には合うが、お客様が本を読むような静かなカフェは合わないと思う。私は曲やジャンルに詳しくは無いが、とりあえず洋楽で安定した雰囲気が必要な時には非常に良い番組ではないか。

#### 【審議委員】

今回は「美容室、カフェ・レストラン」で「夜帯」に「落ち着いた雰囲気を演出」というテーマが設定されているが、番組の作り方は二つ有ると思う。一つはディレクターが「こういう番組が有ったら面白いのではないかと」意図を持って作るやり方と、もう一つはお客様からの要望を聞いて作るやり方で、作り方として恐らく一番理想的なのは後者だと思いがそれだけでは面白くない。「B-69 CONTEMPORARY VOCAL (スロー～ミドル)」は恐らく前者で、ディレクターが沢山の曲を聴いて、そこから自分の感性の中で番組にまとめてきているという事だと思うが、テーマに沿ったなかなか良く出来た番組だと思った。自宅で「B-69 CONTEMPORARY VOCAL (スロー～ミドル)」を流しながら学生のレポートを読んでいたのだが、全然気にならなくて良かった。知らない曲も流れるが、たまに知っている曲が流れると自然と耳を傾けるのでブレイクタイムに丁度良く、癒しになった。例えば美容室では、ずっとBGMを聴いている人は居ないと思うので、つい聴いてしまう曲が流れるのはある部分で必要だと思うが、「B-69 CONTEMPORARY VOCAL (スロー～ミドル)」はそれが出来ていた。いつも、マーケティングはお客様からの要望を聞いてした方が良いと言っているが、なかなか難しい。それはそれで続けながら、今回の様にディレクターの意図を尊重した形で良く出来ているパターンも有るので、もっと営業を頑張ってもらおうと思う。

#### 【審議委員】

非常に見事な選曲で驚いた。今、コンテンポラリー・ヴォーカルと言われても、洋楽で選曲するのは非常に難しい状況になっている。その中で演出ワードを踏まえた選曲時の留意点で挙げられているように、「ジャンルには拘らず、米ポップスからR&B、カントリー、欧州ポップス等まで幅広く選曲している」、そして「雰囲気に統一感が出るよう、同じアーティストの曲でも使用出来る曲と使用出来ない曲を厳選している」、「主に2000年代～最新のリリース音源から選曲するが、流行りのサウンドを取り入れるというより普遍的な良さを感じる楽曲で構成している」との事だが非常に見事に選曲されていた。私は今でも洋楽番組の選曲をしていない訳ではないが、自分が頼まれても選曲は出来ないと思う程で、どのように2000年代～最新のリリース音源から幅広く取り入れたのか聞きたい。先程、他の委員から聴く人の世代について触れられていたが、高齢者とも言える私が聴いていても非常に心地良く、非常にバラエティーに富んだ選曲だ。時間帯については、落ち着いた雰囲気が無い訳ではないが夜帯に限定せず朝帯でも昼帯でもいつでも良いと思う。身体が動いたとしても、カフェでも美容室でも私は体が軽く動いて足で必ずテンポをとっており、どこで何を聴いていてもそのような癖の有る人も居ると思う。そのような意味では、想定業種の美容室、カフェ・レストラン含めどこで流しても非常に優れた番組になっている。「流行りのサウンドを取り入れるというより普遍的な良さを感じる楽曲」を主に選んだという事で、サンプルの中で私が知っているアーティストはあまり居なかったが、調べるとある程度著名な曲が選曲されており、その様な選び方をしている事に非常に敬意を表したい。つまり、手当たり次第に曲を聴いて選んだのではなく、ちゃんとコンテンポラリー・ヴォーカルという事でしっかりと選んでいるという事の証左だと思う。そういう意味ではディレクターのした仕事は大変素晴らしかったと思う。

#### 【放送局】

色々なご意見を頂戴して有難い。どの時間帯でも良いし、美容室、カフェ・レストランでもどこでも良いというのは、番組制作者としてはこれ以上無いご意見だと思う。一方、中にはアップテンポに聴こえる曲が有ったというご意見も頂いた。普段どのような感じで流れているかを聴いて頂きたかった為、サンプルはランダムに選曲した結果、番組の中でもテンポの速い楽曲が多かったというのは私も後で感じたが、実際の放送でもこのような偏りは生じる可能性がある。この点を解消するとなれば、番組では普通のバラードの様な曲も沢山選曲しているので、上手くシャッフルしてテンポ感がずっと同じにならないように工夫する事は出来ると思う。また、どの時間帯でも合うというご意見は有難くもあるが、より夜帯に合う番組にする事を考える事も出来ると思った。選曲をする際は、まずテンポという基準が有って、雰囲気は後でやって来る。例えばこの番組の場合、スロー～ミドルテンポを選んでいるが、スローテンポでもアコースティックな楽曲は確かに昼っぽい印象を持たれる事も有ると感じたので勉強になった。今後は気を付けて選曲したり、精査したりする事によってより良く出来るのではないかと思います。

たまに知っている曲が流れるのが良いというのも本当に貴重な意見だと思ったので、今後も意識したい。イントロについてもご指摘を頂いたが、聴く方はイントロで曲全体を判断してしまう事も有るのだと思った。選曲の際にはイントロで決めてしまう場合も有れば、全体を聴いて全体の雰囲気が良いとイントロの雰囲気をあまり意識しない場合も有ると思うので、その点も気を付けて選曲していきたい。

#### 【審議委員】

次は、「H-12 スtringス・オーケストラ」についてご意見を伺う。

#### 【審議委員】

エレガントでムーディな雰囲気、優雅さ等コンセプトがはっきりしており、そのコンセプトからStringス・オーケストラで構成されているのだろうと感じた。服部克久さんの東京ポップスオーケストラや久石譲さん、千住明さん、渡辺俊幸さん、コンピレーションアルバム『image』や『feel』の楽曲等、クラシックをベースにしたポピュラーなオーケストラでも沢山良い曲が有るので、そちらの方から選曲してもおかしくないのではないかと思います。如何にもStringスという雰囲気になるとイメージが固まってしまうと思う。当然、今のままでもこれはこれで非常に良いとは思いますが、選曲の幅や奥行きを広くして、耳馴染みの有る曲も流れると良いと思う。

#### 【審議委員】

「H-12 Stringス・オーケストラ」を聴いていると、学生の頃深夜に聴いていたラジオを思い出した。デザインの学校に通っていたのだが、徹夜で課題をやっている時にそのラジオが流れると朝まで気合を入れて頑張ろうという気持ちになれた。そのような思い出が有るので、家で深夜に寝る前に聴いたり、一人で雑誌を読みながら一杯ゆったりするような静かなイメージが出来てしまっており、このジャンルが流れている業種が私の中では全く見当が付かなかった。年代的な関係も有ると思うが私と同様のイメージを抱く人は結構居るのではないかと思います。

一般的に、優雅さ・格調高さ=ホテルとなる気はするが、一年の半分位ホテルに泊まっている私でも、どのホテルで「H-12 Stringス・オーケストラ」が流れているかというのはイメージ出来なかった。夜帯提案番組として聴くと、老舗のフレンチのような所には何となく落ち着いて合うとは思いますが、格調高いBGMだからホテルに合うという事は無い。しかし、朝帯や昼帯ではホテルでもカフェでも合うと思う。夜帯に限定すると、どうしても深夜のラジオを連想してしまうが、朝帯提案番組とすると非常に格調高くゆったりとした雰囲気を演出出来、今日も一日大事にしたいという気持ちになれる。

また、映画音楽が随所に選曲されていたが、ゆったりとしたテンポとオーケストラの広がりも相まって、映画のシーンに感



情移入してエモーショナルな気持ちになってしまうのではないかと感じた。私の経営しているカフェは最近時短営業をしていて店を閉めるのが早いのだが、実際、夕方に「H-12 スtringス・オーケストラ」を流すと閉店音楽のように聴こえてしまい、面白い発見だった。

#### 【放送局】

深夜のラジオを連想するというのは、個人的な音楽体験によるものだろう。スローテンポの作品を選曲する際は「暗さ」や「切なさ」等マイナスなイメージを感じる作品に留意して選曲しているが、閉店音楽のように聴こえたというのは「暗さ」や「切なさ」を感じたという事だと思う。そもそもストリングス・オーケストラは「暗さ」や「切なさ」が有るから良い音楽なのであって、それは感じざるを得ないのだろうか。

#### 【審議委員】

感情の起伏を付けるために敢えて選曲したのだという気もするのでそれは全然問題ではない。「H-12 スtringス・オーケストラ」は他のチャンネルに感じるような選曲者の意図を感じる選曲がほぼ無かった。ストリングスで一纏めにしているのでテンポが違ったり、抑揚があつたりしても何となく一つの番組としてゆったり聴こえるというのは非常に面白いと感じた。

#### 【審議委員】

コンセプトが「豪華なストリングス・オーケストラによる演奏で最高に贅沢なくつろぎの時間を」という事で、テンポがスロー～ミドルテンポであるか、気品・格調の高さが感じられるか、落ち着いた雰囲気演出出来ているか、の3項目に留意し、評価した。音楽療法的には、ストリングスの音響学的な性質である倍音がどの曲にも良く出ており、気品・格調の高さが私の心に響いた。スロー～ミドルテンポの曲が選曲されており、人の心にくつろぎ感や優雅さを醸し出す効果が有ったと思う。また、自律神経学的には、非常に高い周波数が良く出ており、弦楽器の「1/f ゆらぎ」の効果も特に出ている為、自律神経が良く整い、副交感神経にスイッチが入り、落ち着いた雰囲気が演出出来ていたのではないだろうか。

サンプルの中には私が若い頃から良く聴き馴染んでいる曲が有った。音楽療法として高齢者施設ではよく回想法を導入するが、「H-12 スtringス・オーケストラ」も懐かしい昔の事を瞬時に思い出し、郷愁を誘う要素が豊富に含まれていたのではないと思う。高齢者施設や介護施設で回想法として活用すると、集団生活をしている高齢者が心身のストレスを抱えている中でも、副交感神経のスイッチが入り、ストレスホルモン・コルチゾールも減る事でストレスの解消が期待されるので非常に良いと思う。また、全体的に一曲一曲が短く、主旋律がよく知られた曲ばかりだと思うので、効果的に機能するだろう。他には、空港のロビーや医療機関の待合室等では効果的だと感じた。検査の前には何を検査されるのだろうかという不安が過ると思うが、「H-12 スtringス・オーケストラ」を流すと不安というマイナスの要因が緩和されて、例えば生理機能検査に臨んだ時には正しい病態と生理機能の検査結果が得られやすいだろう。企業のオフィスや公共機関の受付等幅広い活用法が有るのではないと思う。全体的に聴く人の身体・心身の緊張を解してくれる心地良い選曲だったというのが私の結論だ。

#### 【放送局】

本日欠席の委員より事前に頂いているご意見を紹介する。

まずは、選曲全般への感想だが、吹奏楽部の出身者の私はストリングスの奏でる音楽が大好きで、今回のサンプルは殆ど聴き覚えが有る楽曲だったので自分でも驚いた。半世紀程前は軽音楽やイージーリスニングと呼ばれ、ラジオから毎日流れており、当時はその中でも嫌いな曲が混じていたように記憶していたが、今回のサンプルにはそうした楽曲が殆

ど無かったので丁寧に選曲されているのだと感じた。個人的にはヘンリー・マンシーニやミシェル・ルグラン等がお気に入りだが、そうした楽団が入っていないのはBGMとして彼らのメロディの押しの強さ、つつい聴き入ってしまう惹きつける魅力は避けるべきだと判断したのだろうと想像した。

次に、夜帯提案番組としての評価だが、大変良いと思う。穏やかで豊かな気分にしてくれ、特に広がりのある空間にはこうしたリアルなストリングスの響きは、打ち込みが幅を利かす中でとても贅沢な感じがした。

最後に、演出ワード/想定業種に対してのマッチング評価だが、ホテル、特にロビーとの相性は良く、エレガントで温かい雰囲気演出してくれるように思う。ただ、統一感を感じる流れの中で、エモーショナルな強さを感じる曲やダンスホールを彷彿とさせる曲も有り、ホテルのロビーには少し合わない曲も選曲されていた。一方、高級飲食店との相性では少し違和感を覚えた。それぞれの曲がテレビやラジオの番組テーマ、CMにも何度も使われる等非常に有名で、ある意味大衆性が有る為、希少性が生み出す高級感が高過ぎる知名度とは相容れない部分があるように思う。

全体としては、最近では滅多に感じない華やかさを感じさせてもらった。

#### 【審議委員】

全体的に言うと、特に可もなく不可もなく、何か拘る必要が無い番組だと感じた。想定業種のホテル、高級飲食店に限らず、病院の待合室でも違和感がないという事であれば、バイキングのレストランでも、夜に限らず朝食でも悪くないのではないかと。

本当によく知られている楽曲が沢山選曲されており、同じオーケストラからも沢山選曲されていた。ストリングス・オーケストラというのは、その楽曲の楽器編成と、誰のどの様なアレンジかという事で変わってくるものなので同じオーケストラだからと言って、同じ音がしている訳ではない。その為、このような選曲をしているのもそれはそれで良くて、決して悪い事では全然無いと私は思っている。だからと言って、全部同じアーティストで構成すると、アレンジが薄っぺらになってしまい重厚感が残らず、満足感が無いとも思う。私の好きなアーティストの曲が選曲されていなかったが、それは、録音の時代が古いせいで音が劣化して聴こえてしまうのだろうと思うので何とも言えない。だからこそ、特に可もなく不可もなくという言い方をした。その中で何かもう少しオーケストラの雰囲気そのもののストリングスの数の多さやアレンジによって少し違う深みや彩りが有る曲がもう少し選曲されていても良いのではないのかというのが、1960年代～1970年代の黄金期を知っている人間からのちょっとした欲だ。

#### 【放送局】

先日、ストリングス・オーケストラの作品を色々聴く機会があったのだが、どうしても音質的に差が出てしまうので選曲出来るアーティストが限られてきてしまう。

#### 【審議委員】

レコーディングの際のマイクロフォンの立て方が昔と今では違っていて、リミックスしてどうにかなる問題ではないので、仕方が無い。

#### 【放送局】

やはりストリングスというのは、時代を経て今も聴き継がれている一つのジャンルだと認識をしている。ストリングスの楽曲を良く知っている方にはどうしてもエモーショナルな聴こえ方がしてしまう場合がある音楽であるというのを改めて認識した一方で、音楽体験にストリングスが無い世代にとっては優雅さや落ち着きを演出する音楽として今後聴かれていくのか

も知れないとも思った。いずれにしても、恐らくストリングス・オーケストラの様な音楽は流行り廃りは別としながら、聴き継がれていく、或いはその必要が有る音楽だと思っているので、いつ、どこで流しても良い音楽というのは今後も続けていきたい。また、音楽療法的には往年の名曲が流れるので回想法に効果的であるというのも、我々は全然狙っているつもりは無かったが、そのような使い方も出来るのだという事も改めて認識出来た。一方で、クラシックをベースにしたポピュラーなオーケストラの楽曲を足す事によって、日本国内のサービスとしては違った雰囲気演出や効果も見込めるのだらうと思う。今回は夜帯提案番組という事で、肯定的なご意見もそうでないご意見も頂いたが、真摯に受け止めながらストリングス・オーケストラの往年の名曲をどのように選曲していくかを改めて考えていきたいと思っている。

今回は、両番組とも総じて肯定的なご意見とそうでないご意見が有ったが、このままの選曲内容でも良いというご意見は自信にもなった。また、我々が狙っていなかった点についてのご意見も非常に参考になるご意見として、今後の番組のコンセプトや作り方の参考にさせて頂きたい。